

今回はコーディング作業にご協力いただき、ありがとうございます。Excel 上のコーディングシートは二シートあり、ある二つの国(米国・中国・韓国・北朝鮮のいずれか)に関連する見出しが用意されています。全ての見出しについて、ご記入をお願いいたします。

以下、2つのコーディング項目について説明しますので、よく読んだ上で作業を開始してください。なお、作業途中に迷った場合は、必ずこのマニュアルを読み返してください。

コーディング項目①:価値印象

コーディング対象:

各見出し(記事)で強調されている事実や使われている表現(言葉遣い)から、一般的(平均的)な日本人が感じるであろう、対象国(米国・中国・韓国・北朝鮮)に対する印象。

コーディング目的・手順:

① 上記のコーディング対象が、ポジティブやネガティブといった価値を含む印象を持っているかを判断する。

ポジティブやネガティブとは、以下の様な印象を指す。

⇒ポジティブ:良い、高評価、好感を持つ、安心だ、嬉しい

⇒ネガティブ:悪い、低評価、嫌悪感を持つ、不安だ、悲しい、恐ろしい

② 以下の様なコーディング・スキームで、コーディングする。

「ポジティブ」 = 3.

「どちらともいえない」 = 2.

「ネガティブ」 = 1.

「内容が理解不能」 = 8.

※見出しを見ても、どうしても内容が分からない(価値が判断不可能な)場合のみ、コードする。

「対象国と関連無し」 = 9.

※見出し内容が全く対象国と関連が無い場合のみ、コードする。

例:米が「アメリカ」ではなく、「コメ」、北が「北朝鮮」ではなく「北海道」を意味していた時。

注意事項:

① 一般的(平均的)な日本人が対象国に対して抱く印象を想定してコーディングする。コーダー自身の考えを反映させたり、対象国ではなく記事そのものに対する印象などで判断したりしないこと。

② 「対象国」は政府に限定せず、大衆・企業・文化など、様々な側面を総合して考える。

③ 見出しの文だけを基に、コーディングを行う。他の情報源(インターネットなど)を使わないこと。

④ 読む人によって、ポジティブともネガティブとも取れてしまう場合は「どちらともいえない = 2」とコードする。

例1:日米構造協議 公共投資が決着せず日程延長 土地・流通などは合意 (対象国=米国)

例2:韓国がトーゴに逆転勝利 サッカー・ドイツW杯 (対象国=韓国)

例3:北朝鮮に中国が食糧援助 20—30万トン、搬送を開始 (対象国=中国)

例4:米英、イラク軍精鋭隊と初交戦 イラク側、各地で反撃 イラク戦争 (対象国=米国)

コーディング項目②:主題のコーディング

コーディング対象・目的:

各見出し(記事)に含まれている対象国が、意味があるか、必然性があるかをコーディングする。

コーディング方法:

①コーディング・スキームは以下の通り。

「主題」 = 1. ⇒ 基本的には「主題＝1」をコーディングする。

「主題ではない」 = 0. ⇒ ②の様な場合のみ、0をコーディングする。

「対象外」 = 9.

※価値印象コーディングで、「8」「9」とコーディングされた場合のみ、ここの「9」とコーディングする。

※価値印象の「内容が理解不能」「対象国とは関連無し」とこの「主題ではない」は違うので注意！

②「主題ではない＝0」をコーディングするのは、各見出しに対象国が登場することに、「あまり意味が無い」「あまり必然性が無い」場合のみである。具体的には以下の様な場合である。

・「対象国」が、会議・会談・イベントなどの場所のみを示している場合（事故・政治事象などを除く）

例1:APEC首脳会議開幕「反テロで団結」宣言へ／中国・上海（対象国＝中国）

例2:ヒューストン・サミット 海部首相、きょう6日訪米（対象国＝米国）

※開催場所自体に意味があると考えられる場合には、「主題ではない＝0」とする必要はありません。例えばオリンピックの開催場所がある対象国に決まった場合などです。

・他の国で起きた事象について、「対象国」の主体がコメント・レポートしている場合

例1:北朝鮮が核査察を広く許容 申告済み施設対象に／米紙報道（対象国＝米国）

例2:中国、北朝鮮説得に動く 核問題「建設的対応を」 米高官明かす（対象国＝米国）

※その国の人がコメントすること自体に必然性がある場合には、「主題ではない＝0」とする必要はありません。例えば、北朝鮮問題に関して韓国の主体がコメントしている場合などです。

・多くの国が登場し、「対象国」がその内の一国でしかなく、しかも題材の中心でない場合

例1:「男は男らしく、女は女らしく」 性差意識、日本の高校生は最低／日米中韓調査（対象国＝米国）

例2:北朝鮮外交官絡む麻薬密売、米が摘発体制強化 日中韓と連携図る（対象国＝韓国）

※複数の国が含まれていても、その一カ国一カ国に含まれている意味がある場合は、「主題ではない＝0」とする必要はありません。例えば、欧米の株価に関する報道に、米国が含まれていることには、経済大国として意味があるでしょう。

・日本と「対象国」以外について扱う記事の文脈で、たまたま「対象国」が登場する場合

例1:ゴア米副大統領が3月来日 対中、安保政策などを協議（対象国＝中国）

※判断は微妙ですが、対象国が含まれることに意味がある場合もあるでしょう。例えば上記の記事において、見出し内で対中政策だけが取り扱われていたら「主題ではない＝0」とする必要は無いでしょう。

・その他、記事のトピックと対象国とのつながりが非常に弱い場合

その他、例として以下の様な場合は、「主題＝1」とコーディングする。

- ・スポーツやエンタメ記事で、「対象国」のチーム・選手・俳優・映画などについて扱っている場合
- ・韓国や北朝鮮の記事で、朝鮮・韓国学校について扱っている場合

注意事項:

- ①「主題」というコーディング名になっていますが、このコーディングの目的は、対象国が見出しに含まれていることに「意味があるか」「必然性があるか」です。
- ②上記①と関連して、「主題ではない＝0」というコーディングは、ごく少数の記事にのみ与えられると考えてください。対象国や場合にもよりますが 100 記事に4～5個程度と理解してもらっても大丈夫です。
- ③「主題ではない＝0」とした項目は、基本的に価値印象では「どちらでもない＝2」が与えられると考えてください。見出しに登場することに意味・必然性がない対象国に、価値印象を感じることは想定しにくいからです。

コーディングシートの記入の仕方

※記入は全て半角英数字で行うこと

- ①価値印象についてはデフォルトが空欄となっている。よって、前述のコーディング・スキームに基づき、全ての見出しについて、「1から3, 8, 9」のいずれかの数値を入力する。
- ②「主題」の欄は、価値印象コーディングの結果から、「1」または「9」（価値印象で「内容が理解不能」「対象国と関連無し」の場合）が自動入力される。よって、対象国が見出しの主題でない場合のみ「0」と書きかえる。（間違っ
て、「1」「9」を消してしまった場合には、「1」「9」を再度入力する。）
- ③全て記入し終わったら、各列の一番下の欄である「合計 N」欄の数字が見出し数と同じになっていることを確認する。見出し数より少ない場合は記入漏れがあると考えられるので、再度確認して入力する。